

# 鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和6年度 学校報 No.38

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和7年 1月31日



## 冬の避難訓練 実施

1月24日(金)、積雪時・火災想定での避難訓練を実施しました。積雪時の避難には、防寒できるように靴の履き替え、防寒着の着用、避難経路の確認が留意事項に加わります。全校の避難は3分10秒ほどで完了しました。



「避難の合い言葉は?」と問い掛けると、子どもたちは「おはしも」と反応し「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」と一つ一つの行動についても答えることができました。「どうして、喋ってはいけないの?」と問い掛けると、それぞれに呟く子どもたち。代表児童が「喋ると、口から有毒なガスが入って危ないから」「喋ると、避難の放送が聞こえなくなってしまうから」「喋ると、先生の指示が聞こえないし、慌ててしまうから」と、命を守る事につなげて発言しました。その通りです。

火災は、

- ①火事が起きている事実をできるだけ早く共有すること
- ②有毒ガス、一酸化炭素を吸わないよう低い姿勢で煙を吸わないようにすること
- ③逃げたら戻らないこと

が大切です。避難先を炎や煙の状況から火元を判断し、火元から素早く落ちて離れることが命を守ることとなります。3年生以上の子どもたちは、火災を想定し、鼻と口をハンカチで防ぐ姿も見られました。終わりの会で、発表された感想を紹介します。

ひなんする時に「おはしも」をできました。次も「おはしも」を守ってがんばりたいです。

2年 土\*\*\*

くつや上着を着がえてひなんできました。あわてずにひなんすることが大事だと分かりました。

4年 佐\*\*\*

夏と違って防寒具を着たりズックを履き替えたり寒さから身を守ることが分かりました。万が一、火事もしくは災害があったら、今回の避難訓練を生かしたいです。

6年 佐\*\*\*

## 学校給食費の一部(米飯価格高騰分)を市が負担します

給食試食会の様子



学校給食の食材費は、学校給食費として、小学生300円、中学生340円(一食あたり)を保護者の皆様から納めていただいています。こうした中、全国的な米の価格高騰により、令和6年11月から学校給食の米価価格も引き上げられましたが、この上昇分(小学生13円、中学生17円・一食あたり)については市の負担とし、保護者の皆様に新たな負担していただくことなく、栄養バランスの取れた安全・安心でおいしい学校給食を提供しています。

以上のお知らせが、市内各小中学校に由利本荘市教育委員会からありました。

皆様のご理解、ご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。



## なわとびで体力づくり

1月20日から長休みのはじめの5分間は、「全校なわとびタイム」を行っています。体育委員会が放送で「音楽が鳴っている間、自分の決めた跳び方で練習しましょう。」と呼びかけると、校内のあちこちで練習する子どもたち。連続の前跳びや後ろ跳びを練習する子ども、前跳びで持久力を鍛えている子ども、2重跳びに挑戦する子ども、2重跳びの回数を増やそうとがんばる子ども、・・・など、「自分のめあて」で体力づくりに励んでいます。



2月7日は、全校なわとび集会を行います。

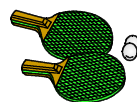
縦割り班で「30秒チャレンジ」「マラソンチャレンジ」「なわとびリレーチャレンジ」、各学年代表による「すご技披露」を行い、冬休み明けの体力づくりの結果を試します。一人一人のがんばりが楽しみです。

感染症の広がりが心配される中、鳥海小学校では大きな広がりがなく過ごせているのは、なわとびタイムによる体力づくり、その後のうがい手洗いのおかげかもしれません。

### おめでとうございます

◇第2回南極オープン卓球大会：1月25日開催

小学生の部 2部 第3位	チーム☆のりしお		
	小*** (6年)	三*** (6年)	三*** (5年)
	黒*** (4年)	三*** (4年)	
小学生の部 2部 第3位	チーム☆コンソメ		
	小*** (6年)	村*** (6年)	豊*** (5年)
	黒*** (4年)	三*** (3年)	



## 節分に寄せて…

今年の節分は2月2日(立春が2月3日のため)、恵方が西南西です。豆をまくのは「魔(ま)を滅(め)する」から邪気を払うにつながっているという説もあります。

数十年前は、小学校で児童会の高学年児童が鬼役をしたり、教室で架空の鬼を見立てて豆まきをしたものでした。私の経験では大豆ではなく落花生(煎る手間がなく、まいても集めやすい)をまきました。豆まきは鬼退治のためなので、子どもたちは各自が自分の中にある心の鬼を見だして決意表明しました。もちろん、豆まきを終わるとみんなで落花生を拾い、年の分だけ食べる・・・そんな節分集会をしたものです。

しかし、人に投げつける行為が懸念され、黒板やボードに記した鬼に豆を当てるようになり、床に落ちたものを拾って食べることの安全性が懸念され、まいた豆と食べる用の豆を別に用意したり、節分行事が学校では見られなくなっているのが現状です。今年は、6年生が週明けに豆まきして厄払いをする予定です。

「今年、家で豆まきしますか。」

老若男女問わずだれでもできる豆まきですが、子どもが小学生や保育園の頃の節分が、一番盛り上がるように感じます。立春過ぎてしばらくしてから拾い損ねた豆が出てくるのも、ほほえましい家族の思い出です。

「鬼は外、福は内」と唱えて、「一年間健康に過ごせるように」「悪いものを追い出せますように」と願いをこめて、ご家庭で節分を楽しんでみてはいかがでしょうか。

